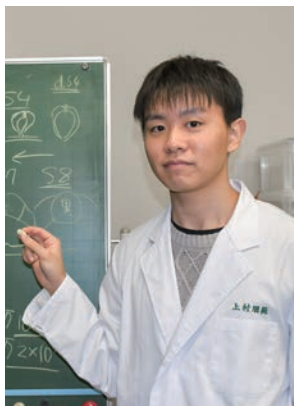


4年次生に聞く

卒業を控えた4年次生に、
本学での日々や就職活動、今
後の目標などを聞いた。



上村 朋範さん

理工学部生物科学科

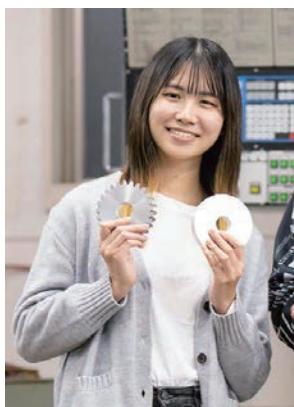
入学前に立てた「中学校理科の教員になる」という目標を達成するため、教員採用試験の勉強に力を注ぎました。コロナ禍の影響でオンライン授業が中心だった1年次は過去問をこなし、2年次の後期から教職対策ゼミナールに参加。3年次から物理や地学など専門教科の勉強を行うなど、段階的に試験対策を進めました。渡辺正芳理工学部准教授の

理科の楽しさを伝える教師に

指導のもと模擬授業に挑戦し、有見正敏人間学部特任教授からは教育法規について教わりました。

学修範囲が広く、新しい法律を覚えるのが大変でした。宮城県と、私が志望する岩手県では試験内容が異なり、その対応にも苦労しました。しかし、目標に向けて地道に取り組めることが自分の強みであり、限られた時間のなかで集中力を発揮。大学へ通う自宅通学サポートバスの乗車時間も勉強にあて、乗り切りました。所属する宮崎厚研究室では、講義を通じて興味を持ったヒゲカビについて研究しました。身近な対象に興味を持ち、疑問を解決するのが理科の魅力。勤務先の中学校では分かりやすい授業を心がけ、そうした理科の楽しさを伝えていきたいです。

〈岩手県水沢高、内定先〓岩手県教育委員会(中学校理科)〉



武田 実桜さん

理工学部機械工学科

幼い頃から宇宙開発分野に興味があり、ロケットエンジンについて研究する尾池守研究室で学びたいと思い、石巻専大を志望しました。

大学4年間で思い出深いのは、実験・実習の授業です。機械工学科には実際に機械を動かして何かを製作・実験する授業が多く、座学で学んだ専門的な知識をより深く理解することができました。授

宇宙開発の発展に貢献したい

業を重ねるごとに、レポート作成の際に自分なりの考察を加えられるようになり、自身の成長を感じています。

3年次の夏ごろから始めた就職活動では、面接対策に苦労しました。対策本を読んだり、教員にアドバイスをもらったりしながら、少しずつ苦手を克服。性格的に優柔不断なところがあり、判断を他人に委ねてしまうこともあるのですが、就職活動に関しては、自分の軸を決めて曲げず、納得のいくまで考えて、進むべき道を決めました。

卒業後は宇宙部品関連企業で品質検査職として働きます。新しい環境での生活に慣れ、業務を通じてさまざまな知識を身につけたうえで、今後の宇宙開発事業の発展に少しでも貢献したいと思っています。

〈山形県山形北高、内定先〓HIREC株式会社〉

バックヤードで設備や飼育法を説明する佐藤さん(右)



教育施設としての役割学ぶ

人間学部人間教育学科の新鶴田道也助教が担当する理科教育研究室では、理科の内容や教育方法、自然・環境をテーマにした教育活動について研究している。

1月12日、所属する3年次生ら10人が、ゼミの一環で仙台うみの杜水族館を訪れた。本学理工学部生物科学科出身の飼育員・佐藤光優さん(平30卒)の案内で館内をまわり、飼育や展示上の工夫、小学校との連携など、教育施設としての役割について理解を深めた。

貴重な抜け殻に実際に触れて観察



バックヤードでは、普段目にするものではない、エサを準備するための場所や、保存されている標本などを見学。その後、4年次生が作成したワークシートを使い、実際の理科の授業を想定した観察を行った。現役の飼育員からアドバイスをもらうなど、学生たちにとって貴重な経験となった。

参加した佐藤寿幸さん(人間3・岩手県花泉高)は、「骨格標本や生体の展示によって、生き物の生態や進化の痕跡を分かりやすく知ることができた。生物の種類の豊富さの観点から、水族館での観察の有効性を感じた」と話した。

人間教育学科・理科教育研究室 仙台うみの杜水族館を見学

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の情報は大学HPで。

空撮動画を公開中



空撮用ドローンで撮影したキャンパス動画を15分ムービーで公開中！キャンパス周辺の自然や市街地も見ることができる。

動画の撮影・編集は経営学部情報マネジメント学科の三橋勇太助教が担当した。



理工・機械工学科 震災対策技術展に出展



展示会に参加した学生と高橋准教授(中央)

理工学部機械工学科の154年次生7人が、2月8、9日に神奈川県のパシフィコ横浜で開かれた「第28回震災対策技術展」(震災対策技術展実行委員会主催)のブース出展に協力した。AIG損害保険株式会社との産学共同による出展企画で、立体模型を用いた津波プロジェクト「津波のピンク」によって、津波の被害や災害への備えの重要性を伝えた。

ブース出展に向けて学生たちは、立体模型製作およびブース内のプレゼンターとして活動した。立体模型製作では、学科の専門科目で学んでいる3Dプリンター等を使い、気仙沼市沿岸部の地形を忠実に再現。さらに、津波プロジェクト「津波のピンク」の解説や展示案内の準備にあたった。プレゼンターを担当し

出願受付中

★詳細はホームページで必ずご確認ください。

【総合型選抜D日程】

試験日 3/12

【一般選抜C日程】

試験日 3/12

【大学入学共通テスト利用選抜C日程】

いずれの出願期間も

2/22(金)～3/7(金) ※消印有効

オープンキャンパス

【日時】 3/24(日) 13:00～16:00

【会場】 石巻専修大学

【開催プログラム】

学科説明会/理工学部オープンラボ/経営学部ワークショップ/人間学部まるごと紹介/入試概要説明会…などを実施

令和5年度

学位記授与式のご案内

日時: 3月20日(水・祝)

開場 10:00 / 開式 10:30

場所: 石巻専修大学体育館

■同窓会・育友会共催「卒業を祝う会」開催について
14時から石巻グランドホテル(石巻駅から徒歩5分)で行います。

石巻専修大学公開講座「石巻で学ぶ」

東日本大震災を経て、新たに生まれ変わろうとしている石巻市を舞台に、未来のまちづくりについて考える。参加費は無料。

■開催日時 3月16日(土) 13:00～16:30

■場所 専修大学神田キャンパス
10号館8階10081教室

■プログラム

1部「復興の記録」
2部「未来のまちづくりに向けて」
3部「パネルディスカッション」



【申し込みフォーム】

【問い合わせ】

石巻専修大学事務課 TEL0225・22・7717

た志賀柚月さん(2年次・宮城県気仙沼市)は「実家から遠くない場所のジョウマで、とても身近に感じる。そのような思いもあり、活動に参加した」と話した。

これまで震災復興活動に携わってきた高橋准教授は「今回の出展は学生たちにとって、授業や実習での学びを実践する機会となった。モノを作るだけでなく、人との関わりも学んでくれた」と総括した。